

経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県美作市 美作市立大原病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
27,816	6,642	第1種該当	13：1	

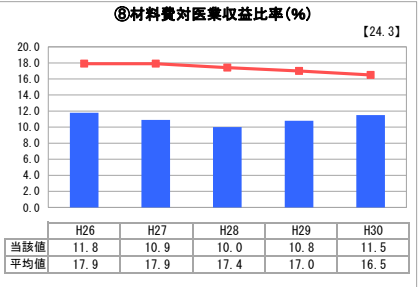
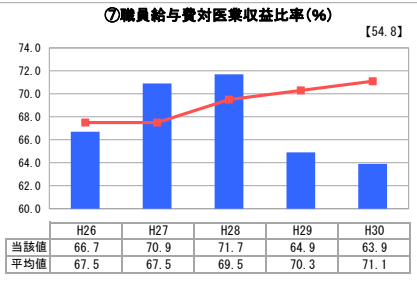
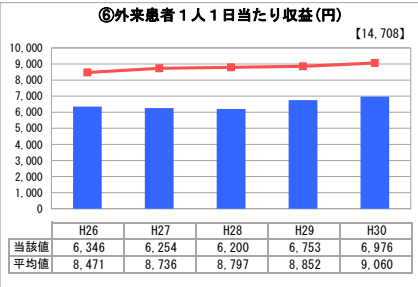
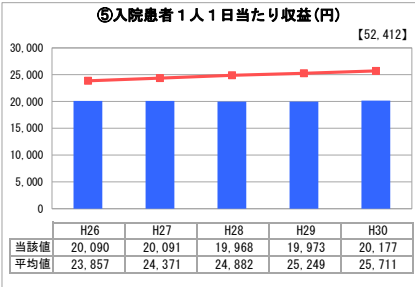
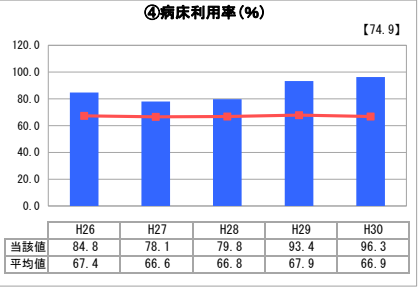
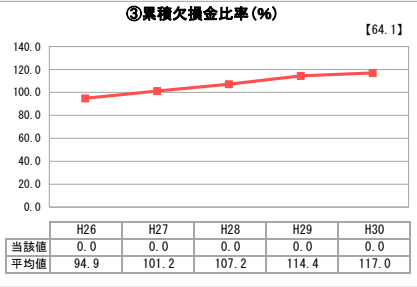
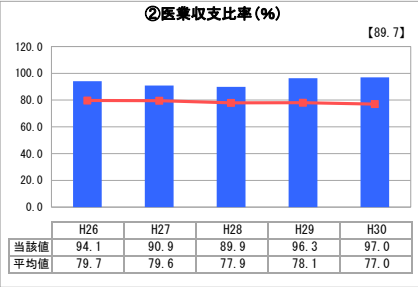
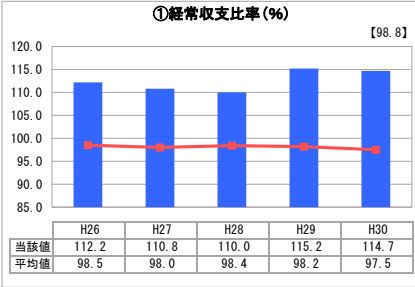
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

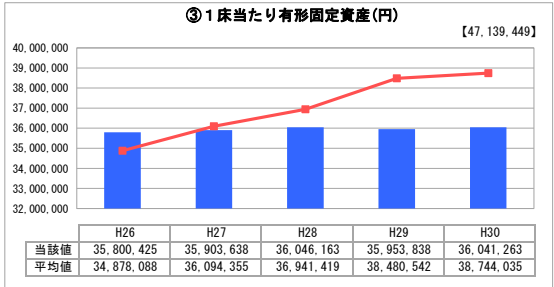
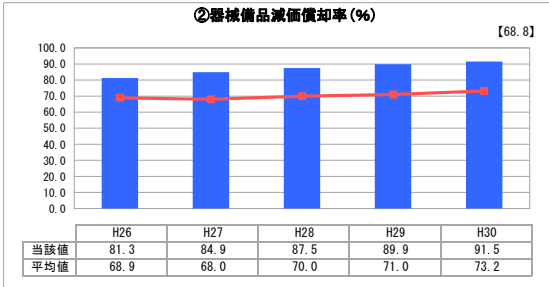
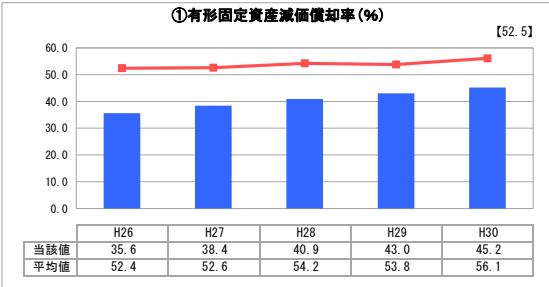
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
40	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	80
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
40	40	80

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

へき地医療拠点病院として、急性期医療のほか、患者の在宅復帰に向けた医療と介護の連携を担い、住民の安心安全な医療提供のため、救急告示病院として24時間の受入を実施している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率においては100%を上回っており、事業年度ごとに純利益があり、累積欠損金はない。病床利用率は平均より高いが、一人当たりの単価は低い。地域医療にあって単価的には上げられないので、病床利用率を維持し経営の健全化を図っている。

2. 老朽化の状況について

平成17年に新築して以来14年が経過しており、特に医療機械備品の老朽化度合いが高いため、毎事業年度ごと老朽化が激しいものから随時更新している。

全体総括

地域の医療ニーズ及び人口減少及び少子高齢化に対応するため、地域包括ケア病床として10床を届出し、病床利用率の向上を図り、より一層の黒字化経営と公立病院の使命を果たすべく経営健全化に努めている。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。